

児童発達支援、放課後等デイサービスの **子どもの森アウル**

こどもあうる

札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL 011-867-0354



子どもの森
アウル通信
NO.24
R2 4. 14
(文責 久保)

新年度がはじまって

コロナウィルス感染症の影響による長い間の休校が終わって、先日、各学校の始業式・入学式が行われ新学期がスタートしました。多くの皆様はホッとなさったのではないかと思います。しかし、それもつかの間。不安に思っていたことが起きてしまい、また休校・休園の流れになってしまいました。

全国的な非常事態をみてわかるとおり、まだまだ終息の兆しはありません。アウルはこれまで通り、いや、これまで以上の注意（毎朝・夕の除菌、頻繁な室内換気、職員のマスク着用、トイレ使用後の手の消毒、おやつ前の手の消毒、教材の消毒等）を払いながら、「安心した居場所づくり」をすすめていきたいと思えます。

アウルも開業して3年目に入りました。先月は中学3年生の「アウル卒業式」を行いました。明るい顔をみせて真剣に証書を受け取る卒業生とそれを温かく見守る子どもたちにスタッフ全員が感動をしました。

アウルが大切にしたい3つの事—①個々のニーズを伸ばしてほしい ②新たな発見をしてほしい ③ステキな時間を過ごしてほしい—を、今後も心に強く思いながら活動していきます。



保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

マスキングテープで共同作品

3月の制作活動で共同作品を作りました。素材はマスキングテープ。大きな作品ですので一つの作品が完成するのに何日間もかかりました。二作品作り、一つは「宇宙」でもう一つは「2周年のアウル」です。



感動的な力作になりました。作品展に出品したい位です。アウル室内に飾っています。

ウサギカフェに行ってきました

春休み中に、アウルスタッフのうさぎTが経営しているウサギカフェ「しあわせうさぎ」（北広島大曲）に行ってきました。うさぎのグッズが満載の店内でランチを食べました。「めっちゃ美味しい」という声も。店の入り口でウサギの被り物を身につけて記念写真！



新しいスタッフ紹介～ 田中美晴（たなか みはる）

名寄市から来ました、田中美晴です。大学では4年間社会福祉を学んでいました。絵を描くこと、裁縫、音楽が好きで学生時代はアコースティックバンドでライブ活動を行っていました。まだまだ未熟ではありますが、子どもたちの成長のサポートができるように、精一杯頑張っ参りますので、よろしくお願いいたします。



児童発達支援、放課後等デイサービス **子どもの森アウル**

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.25
R2 5. 8
(文責 久保)

緊急事態の今



新型コロナウイルスの感染拡大はとどまりません。そして終息のメドも立ちません。私も含めてですが多くの皆さんが不安を抱えていることでしょう。

今、色々な方が様々なメッセージを発信しています。その中で私が気になったメッセージを紹介します。発信者はサッカーの三浦和良氏です。

すべての行動が制限されるわけでない緊急事態宣言は「緩(ゆる)い」という声がある。でもそれは、日本人の力を信じているからだと僕は信じたい。きつく強制しなくても、一人ひとりのモラルで動いてくれると信頼されたのだと受け止めたい。

戦争や災害で苦しいとき、隣の人へ手を差し伸べ助け合ってきた。暴動ではなく協調があった。日本にはそんな例がたくさんある。世界でも有数の生真面目さ、規律の高さ。それをサッカー代表でも日常のピッチでもみてきた。僕らは自分たちの力をもう少し信じていい。日本人はこういうとき、「やれるんだ」と。

「都市封鎖をしなくたって、被害を小さく食い止められた。やはり日本人は素晴らしい」。そう記憶されるように。力を発揮するなら今、そうとらえて僕はできることをする。ロックダウンではなく「セルフ・ロックダウン」でいくよ。

自分たちを信じる。僕たちのモラル、秩序と連帯、日本のアイデンティティーで乗り切ってみせる。そんな見本を示せたらいいね。

世界を舞台に活躍した三浦氏。彼だからこそ、日本人の良さと強さを知っているのでしょうし、そこに希望を持っているのでしょう。

そして別な日のメッセージでは最後にこんなことを言っています。

… こんな時でも、明るさまでは失わずにいたい。

彼の言葉に私は共感しました。



4月の活動

休校期間中、4前中1時間の勉強時間を設定しています。「あと何分？」と時々言いながらも、静かに勉強に取り組んでいます。エライ！！



天気の良いときに、アウルの送迎車をみんなに洗車してもらいました。スポンジやブラシ、雑巾を使って水洗いをしました。汚かった車がみる



みるうちにきれいになりました。ありがとう！！

児童発達支援、放課後等デイサービス **子どもの森アウル**

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.26
R2 7. 10
(文責 久保)

コロナ、まだまだ

コロナウィルス感染症の影響で学校の休業が5月いっぱい続いていましたが、6月になり学校が始まると、それまでアウルをお休みしていたお友だちも来てくれるようになりました。あたらしいお友だちも増え、アウルのにぎやかさが元に戻り、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。

しかし、東京など他の府県では増加傾向にあり、まだまだ油断はできません。アウルではこれまでどおり除菌、換気、整理、手洗い、マスクなどの対策は継続していきます。ご理解をどうぞよろしく
お願いいたします。



今年の夏休みは



子ども達が楽しみにしている夏休みは、今年は残念ながらとても短い期間になりました。それに伴いアウルの夏休み特別行事も縮小せざる得なくなりました。バーベキューや、水遊びを今年は実施しない方向で進めています。一方、今年の新たな行事として「アウル夏祭り」を企画しています。子どもたちが夏らしさを楽しめる時間を作りたいと思っています。
詳しくは別紙プリントでお知らせします。お楽しみに！



6月の活動

外出体験で円山動物園に行きました。入館できない場所もありましたが多くの動物などを見ることができて子どもたちは楽しめたようです。



制作では「靴下ぬいぐるみ」「アイロンビーズ」「刺し子」「壁飾り作り」「ペン立て作り」「マスキングテープで作品作り」「スタンドグラス」「押し花の葉づくり」などをしました。刺し子や靴下ぬいぐるみ作りでは針と糸の使い方が、みんな上手になってきました。また、アイロンビーズは今、大人気の活動の一つです。



スタンドグラス



マスキングテープ



ペン立て



アイロンビーズ



靴下ぬいぐるみ作品



押し花しおり作品

アウルの 畑情報



ジャガイモ、かぼちゃ
トウキビ、順調です。

児童発達支援、放課後等デイサービスの森アウル

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.27
R2 8. 17
(文責 久保)

去年とは違う夏休み

例年だと、夏休みは子どもたちが公園やプールなどで水遊びを楽しむ映像や花火やお祭りを楽しむ映像がTVから流れることが多いのですが、今年はコロナの影響で、そのような映像は少ない気がします。確かに、海水浴場の一部閉鎖や夏休み期間の短縮、プールやイベントの開催中止が今年が多いですから。

そのような異例づくしの今年の夏休みを、子どもたちをはじめ皆様はどう過ごしましたでしょうか？

コロナの終息がなかなか見えませんが、来年の夏休みはいつもの夏休みに少しでも戻っていることを願わずにはいられません。

夏の風物詩といえば各地で開かれる花火大会ですが、もともとは打ち上げ花火には「悪疫退散」の願いがあったようです。先日、全国各地（場所が不確定）で花火が打ち上げられました。そのような願いが込められて打ち上げたようです。子どもたちの夏休みと同様、来年は例年の花火大会が開催され、夜空を見上げる人の顔に笑顔がたくさんこぼれることを、心から願う次第です。

アウルの畑一大収穫

きゅうり、とうもろこし、トマト、ピーマンなど大収穫です。お持ち帰りした際は、是非食べてください。



7月の活動の様子

7月は天気の良い日は何度か公園に行きました。体を動かすのが大好きな子どもたちですから、みんな大喜びでした。

室内では、マスキングテープでポスター作り、アイロンビーズ、靴下ぬいぐるみ作り、モモンガ飛行機、壁飾り作り、サンキャッチャー作りなどをしました。



(ポスター)



(靴下ぬいぐるみ)

また、アウルでは初めての「酢や重曹を使った実験」の活動も行いました。理科の実験に子どもたちは興味津々でした。どんなことがおきるか予想してみる→試してみる→結果

→また試しにやってみる→違う結果になる→不思議に思う・・・驚きと、発見と、確認、実験って楽しい！



(実験の様子)

第1回アウルの夏祭り

先日アウルの夏祭りを行いました。フレンズと合わせて16名の子どもたちが参加してくれました。白石体育館の中に作った「輪投げ、さかなつり、もぐらたたき、ストラックアウト、くじ、射的、昔の遊び」の各コーナー（出店）を子どもたちは自由にまわって、とっても楽しそうでした。来年も開催！



児童発達支援、放課後等デイサービスの森アウル

こどもあうる

札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354



子どもの森
アウル通信
NO.28
R2 10.16
(文責 久保)

まだまだコロナは…

先日、フランスのパリに住む作家の辻仁成さんのブログがTVで放送されたのを観ました。フランスはコロナを抑え込むために3月にロックダウン一時解除されたものの最近また急激に感染者が増えておりバーなどの営業は停止され再度ロックダウンを行う可能性があるとのこと。そんな中、辻さんの息子さんが「責任は飲食業界ではないんだ。若い人がお酒を買い家に集まり狭い空間で濃厚接触する事で感染が拡大する。大事なのはコロナへの意識を上げること、教育なんだ。問題の根本をブロックするのではなくオープンにすることだ」と言ったそうです。



先日、帰りの会の際、私はアウルの子どもたちから注意を受けました。マスクを顎に下げて話をしていたからです。子どもたちはきちんとマスクをしていました。普段、子ども達はアウルに来たらすぐに手洗いと殺菌をします。おやつの前も同様です。もちろんマスクはきちんとしています。子どもたちのコロナへの意識の高さや予防習慣には感心します。



日本のほとんどの方がマスクをしており、お店では間隔をあけて並びます。フランスと日本では風土や歴史、民族意識、教育が違うので単純に比較することはできませんが、保健衛生面についての各家庭での教え、学校での教え、それをきちんと守る子どもたちの素直さ…継続していきたいものです。

9月の活動の様子

アウルのジャガイモは大収穫

9月に入って、アウルの畑はジャガイモがたくさん収穫できました。フレンズの小さなお友達も収穫のお手伝いをしてくれました。土の中でジャガイモが顔をのぞかせると



「あったー!」「大きいよー!」「すごーい」という歓声があがりました。



最後は袋にいっぱいジャガイモを詰めることができました。

10月に入りアウルの畑は終了です。また、来年が楽しみです。

9月もたくさんの活動をしました



【刺し子】



【実験一片栗粉粘土】



【プラ板作り】



【靴下ぬいぐるみ】

児童発達支援、放課後等デイ **子どもの森アウル**

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.29
R2. 11. 16
(文責 久保)

保護者の皆様からの評価

先月保護者の皆様に、「保護者評価」のお願いをいたしましたところ、多くの皆様からご返答をいただきました。誠にありがとうございます。皆様からは貴重なご意見やご評価をいただきました。

その中で特に今後早急に改善をしなければならないご意見を頂きましたので、取り組んでまいりたいと思います。

1 点目～**個人懇談について**～皆様のご都合を伺いながら半年に1度程度「個人懇談」を行いたいと思います。お子様の事につきまして細かに交流をしたいと思います。

2 点目～**ホームページについて**～ブログをはじめ、内容の更新や追加を、長い日にちの間隔を置かずに行いたいと思います。

集計結果につきましてはホームページの保護者評価に掲載しておりますのでご覧ください。※ホームページは「子どもの森アウル」で検索してください。

コロナ感染の拡大に伴って

インフルエンザ、コロナ対策でこれまで以上に手洗、除菌、換気、湿度管理の徹底に努めていきます。家庭内で新たな情報がありましたらお知らせください。

10月に新しいスタッフが加わりましたので紹介いたします。アウルに1名、フレンズに1名です。もうすでにお会いしているかもしれませんが、保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

新しいスタッフ紹介①～谷内田知佳子（やちだ ちかこ）児童指導員

はじめまして。10月からアウルフレンズの児童指導員になりました、谷内田知佳子と申します。かわいいフレンズの子どもたちは、驚くほど周りの大人の振るまいや言動を観察しています。これは絶対忘れてはいけないことです。

そして、ここは安全なんだ、みんなが自分を見てくれていいるという安心感をベースに、「(子どもが) もっとがんばりたい!」と思える自分になる」ためのサポートを、微力ながらさせていただきます。よろしくお願いいたします。



新しいスタッフ紹介②～菊地 光夫（きくち みつお）運転技術員

はじめまして、菊地光夫です。どうぞよろしくお願いいたします。1952年生まれの68歳です。現役時は約40年間銀行に勤務しておりました。この度縁がありまして10月15日からお世話になっております。アウルでは一日も早く子ども達のお顔とお名前がわかるよう、そして子ども達と一緒に成長できればと思っています。

さて、私の趣味のお話をして自己紹介と致します。①そば打ち（切れっ切れのそばですが・・・）②ゴルフ（一度はホールインワンを・・・）③山登り（昨年、富士山に登りました）④キーボード演奏（始めたばかりですが、いつかは娘と孫との三連弾を・・・）



児童発達支援、放課後等デイサービスの森アウル

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.30
R2. 12. 10
(文責 久保)

1年間ありがとうございました

2020年も残すところ「あと少し」となりました。今年1年間、皆様には大変お世話になり心より感謝いたします。

2020年はどうしても「コロナ」というマイナスイメージが強いのですが、アウルにとっては明るい出来事（フレンズが開業した、新しいお友達がたくさん加わった、新しい行事—夏祭りを実施した 等）もありました。皆様のご家庭でも明るい出来事、明日につながる出来事もあったことと思います。

今年のコロナの事は決して忘れることはできませんが、悪いことばかりではなく学んだことも少なくありません。

来年を決して楽観視するものではありませんが、来年には新たな明るい出来事が必ずあると信じて、「希望」の年に

していきたいものです。来年の干支は「うし」です。どっしりとした気持ちで心機一転！ポジティブに！

1年間ありがとうございました。

お知らせ

今年はクリスマス会を中止にさせていただきました。本当に申し訳ありませんでした。今月のクリスマス時期に皆さんにお菓子のプレゼントを配ります。

ちょっぴり楽しみにしてください。



2020年(令和2年)を振り返って

外出体験～今年はコロナ感染症の広がりに注意しながら、外出体験を行いました。今年、新たに行った場所は、きび団子で有名な谷田製菓、月寒公園、支笏湖、サンピアザ水族館などでした。体験は子ども達も大好きなので、時間があっという間にすぎました。



室内活動～今年もたくさんの制作活動をしました。その中で、今年の新たな取り



組みは「実験」と「作って遊ぼう」でした。「実験」では1液と2液を混ぜたらどうなるか、色をつけたらどうなるか、かき混ぜたらどうなるか…子どもたちの目が輝いていました。「作って遊ぼう」では、自分の好きな制作をそれぞれのコーナーに分かれて創意工夫して作っていました。

行事～今年は夏の「バーベキュー」「クリスマス会」「水で遊ぼう」を中止にしましたが、新たに「夏祭り」を実施しました。子ども達は大喜びでした。



来年も多種多彩な活動を工夫しますのでよろしく願いいたします。

お願い

冬休み期間中はアウルで午前中に1時間の学習時間を設定（外出体験以外の日）しますので、利用日当日は学校からの冬休みの宿題プリントなどを持たせてください。

児童発達支援、放課後等デイサービスの **子どもの森アウル**

こどもあうる



札幌市白石区北郷2条7丁目4-1 TEL011-867-0354

子どもの森
アウル通信
NO.31
R3. 1. 16
(文責 久保)

新しい年を迎えて

2021年（令和3年）が明けました。

保護者の皆様には昨年大変お世話になり、誠にありがとうございます。本年も、アウルの活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年は丑年（うしとし）です。丑年の事を調べてみると『牛は、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活には欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、縁起のよい動物として十二支に加えられたようです。また、「丑」の字が使われており、「結ぶ」や「つかむ」などの意味を込めたとも考えられています。』と書かれていました。



今年のアウルの活動は、この牛の姿のように忍耐強く、堅実に進めてゆく心構えが大切なかもしれません。

一方昨年末、今後の活動について、ある方から、「恐れ過ぎてはいけない。でも恐れを忘れるな」という言葉を頂きました。私は「いろいろな取り組みに挑戦しなさい。しかし決して無謀になってはいけない。慢心にならずに前に進みなさい。」というこの言葉の意味と、丑年の意味がどこか共通しているような気がします。

アウルは初心を忘れず、子どもにとって居心地のよい場所づくりを目指します。

年末年始の様子

年末大掃除

みんなでアウルの大掃除をしました。窓ガラスや窓の淵靴置き場、棚、床等を拭いたり、履いたりしました。1年間の汚れを取って、気持ちもきれいにしました。



お昼は、お餅を食べました。お餅を、ピローンとのはして食べていました。



年始

アウルの初日に白石神社に初詣に行きました。

お参りの仕方を練習してから行ったので、みんな、きちんとお参りができました。おみくじを引くと大吉のオンパレードでした。

アウルに戻ってからは、福笑いなどの正月らしいゲームを楽しみました。

アウルのフーム

今アウルではアイロンビーズが流行です。鬼滅のキャラを作って楽しんでいます。





アウルを卒業するみなさんへ

小学校や中学校を卒業するみなさん、ご家庭の事情でアウルを卒業するみなさんへ、スタッフからのメッセージです。



卒業するみんなへ

遠い昔、自分が学校を卒業する時は、さびしさよりも次のことについてでしたが、アウルが始まって大好きな子どもたちを見送る立場になって初めて、置いて行かれるさびしさを知りました。

大人になった時に「小さかった時、アウルに行ってたな」と、少しでも良い思い出であなたたちの心に残ることができたら嬉しいです。

自分の人生を楽しんで進んでください！
(なおこ)

アウルを卒業するみなさん、ご卒業おめでとうございます。

私の正直な気持ちを伝えます。みなさんに会えなくなること、これからの成長をそばで見守れなくなることがとてもさみしいです。

しかし、卒業は新たな未来への旅立ちで、喜ぶべきことです。ふくろうが「福来郎」と呼ばれているように、みなさんの未来にたくさんの「福」がくることを願っています。

たまに、アウルに遊びに来てね。
(ゆうこ)

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。4月からの今までとは少し違う生活に、期待や不安がいっぱいだと思います。私は、皆さんがアウルで学習や制作をがんばっている姿を見ていたので、新しい場所でもきっと大丈夫！と思います。

たまに「アウルでこんなことがあったなあ」と思い出してくれたら嬉しいです。
卒業おめでとう (みはる)

卒業される皆さん、おめでとうございます。みんなで一緒に活動した公園での外遊び、実験、制作など思い出がたくさん出来ましたね。アウルで出会った仲間は宝物です。これからもたくさん友達をつくってくださいね。

(みつお)

卒業おめでとうございます。

今年はアウルを卒業し、旅立つ人が多く、卒業を見送る側はこんなに寂しいものかと痛感しています。

次にみなさんに会う時には、もっと大きくなった、パワーアップしたみなさんに会えることを楽しみにしています。
(りゅうき)



私は卒業する皆さんに心から「ありがとう」と伝えたい。あなたがたの明るく元気な姿に、たくさんのパワーをもらいました。あなたがたの鋭い突っ込みに、自分の気を引き締める機会をもらいました。あなたがたの自由な発想に、個性の大切さを教わりました。あなたがたの笑顔が、次に進む自信を与えてくれました。みなさん、ありがとう。
(かずのり)